
転生者の日常

田中中

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

転生者の日常

【Nコード】

N9823X

【作者名】

田中中

【あらすじ】

どんな変な作品でも読めるぜって方にどうぞ。

転生者が擬人化したISとIS学園でハチャメチャやりまくり作品です

作者の初めての作品ですどうかよろしく願いいたします。

プロローグ（前書き）

どうも今回初投稿する、タナナです。駄目文でいたらないことがあります。よろしくお願いします。

プロローグ

プロローグ

目が覚めると僕、中田龍は見知らぬ部屋にいた。辺りを見回し部屋
お見る、部屋には扉も窓もなく完璧な密室だった。

龍「ここは所、私は誰」

まあ何かこれは定番だよな。

しかし本当

龍「誰もいないなあ」

この先本当にどうしようかと悩んでいると

「ヤッホー、聞こえてる」

頭に直接響く澄んだ声でした。

龍「！」

「ちょっと聞こえてるなら返事してよ」

龍「……誰……ですか」

一応聞いてみる。

「自己紹介がまだだね私はあれ神様」

神様ってゴットとか雲の上にいるてきなあれか？
龍「でその神様が何の用ですか？」

「その前に君の自己紹介がまだだね」

龍「あつ遅れてスイマセン僕は中田なかつ 龍りゅうです」

「うん、自己紹介が終わったところで早速本題に入るうか……ズバリ君に転生し「是非ともお願いいたします!!」……決断が早いね」

「よしじゃあ君が行く世界はIS>インフィニット・ストラトスくだよ。」

えーっとISは確か、ある天才がこれまでの軍事兵器が一切通用しないうえに、女にしか使えないISという名のマルチフォース・スーツを作ってそれに偶然乗った主人公の話だったような。

龍「…ああ、あの主人公ハーレムのか」
別に、嫉妬とかはしてないんだからな。

「そう、そのISの世界に行くんだけど、何か欲しいチートはある……ああそうそうデフォルトでISは動かせるからあとオマケでISをあげる」

龍「そのチートに何か制限て有るの」

「特に無し」

龍「神様しばらく時間を下さい」
神様は二言で返事をしてくれた。

~~~~~

しばらく考えてから、これだという感じの案が浮かんだ。

龍「神様、決まったあ〜」

「どんなのにするの」

龍「始めに何かに属性及び効果を追加す力と一人暮らしできる用に家事スキルのUPで」

「よしわかった、それじゃさっそく行くかい」

龍「ちょっと待った最後に重要なものがある」

「何？」

龍「ISを擬人化させてください、もちろん美少女で！」

「OKこんな感じでいい」

神様がそう言くと部屋の中心に光が集まり人の形になった。

その見た目はこれゾンのユーの身長を140cmぐらいにした感じの少女がいた。

龍「おっ……OKだよ神様、スツゲー可愛いじゃん！」

「そう、気に入ってもらえて良かったよ」

「名前は？」

龍「僕が決めるの？」

「君のパートナーだよ」

うー……えーっとよし髪が白いから

龍「名前はクロ」

「クロ？」

龍「そう、クロ」

「まあ、何も言わないよじゃあ名前も決まったことだし、行くかい」

龍「おう！」

そう言つと目の前が真っ暗になった。

意思が戻ったら部屋のベッドに寝かされていた。

龍「ここは所、私は誰」

本日？二度目のこのネタ……と言うよりクロさんがいないなあ？

そんなことを思っている

？「教えてやるう、ここはIS学園で、お前はそのIS学園に侵入した者だ」

声がる方に目を向けると……織斑 千冬がいた。

おー原作キャラだー

千冬「お前はどおやってIS学園>ここ<に来た」

龍「いや、どおやってっって言われても、僕も今意識が戻ったばかりですから」

「一応嘘は言ってない。」

千冬「じゃあ何故来た」

龍「理由も無いです」

実際に理由も無いけど本当にクロさんどこにいるんだ…待機状態でもないし、聞いてみるか。

龍「あの一」

千冬「なんだ」

龍「えーっと僕と一緒に長くて白い髪の女の子居ませんでしたか？」

千冬「居たが、別の部屋だ」

龍「何故ですか？」

何故別の部屋だろう女の子だからか？

そう思っていたら別の答えが返ってきた。

千冬「それはあの少女がどこの国にも無い形のISを起動させたからだ」

…？ISの擬人化だからかISを起動できるのかな？まっ無事ならいいか。

龍「あつ自己紹介がまだですね、僕中田 龍、性別は男です」

千冬「私は織斑 千冬だ」

知ってるよ、だてに原作読んでねーぜ。

龍「で、千冬さん僕はこれか、らどうなるのですか？」

千冬「事情聴取をしてから何も無ければ自由」

龍「有ったら？」

千冬「政府に引き渡す」

まあそんなところだろう。

龍「ところで、クロさ…、あの一緒に行た女の子はどうなるんですか？」

千冬「身元を調べてからIS学園>ここに入学させることに成る  
だろお」

そうか、なら僕も一緒に入学するか。…でもどうやって…よし、  
早速チートを使おう。

言葉に説得効果お追加して。

龍「僕に入学のチャンスを下さい！」

どうだ、チートは働いたか？…

千冬「良いだろう…ついてこい」

そう言ってから携帯電話を取りだし誰かに連絡をした。

場所は変わり第三アリーナのピットそこで僕は打鉄>うちがね&と向き合っていた。

千冬「どうした早く起動して模擬戦をしろ、それがIS学園の入学条件だ」

さっさとやるか、僕は打鉄に触れ起動させた、ハイパーセンサーで千冬さんの顔を見ると疲れたような顔をしていた…もしかして起動できないとでも思ってたか？

龍「対戦相手は誰ですか」

千冬「もうアリーナで待機している」

相手はいったい誰だ？…とりあえず出るか……アリーナに出るとラファール・リヴァイヴに乗った山田 真耶さんがいた。

真耶「あれ、男の操縦者ですか？」

それにしても二人めの原作キャラの登場かぁー元代表候補生だし頑張るか

龍「ハイ、名前は中田 龍です」

真耶「それでは、始めましょう」

龍「ハイ！」

始まりのブザーが鳴った…よしチート使いまくる。

始めに、真耶さんがレッドバレットで牽制射撃をしてきた。

それを上昇して避け近接ブレード展開>オーブン<し近接ブレードに真空刃の効果を追加して真耶さん目掛けて振た。真空刃がラファ

ール・リヴァイヴの左肩の装甲に当たり装甲とシールドエネルギーを削った。

真耶「なっ何ですか？今の」

龍「ただの真空刃です…次は見える用にします」

よし真空刃に炎の属性を追加してまた近接ブレードお振るする炎を纏った真空刃が真耶さんに飛びそれを危ないところで回避する、そのあいだもう片方のもう一本近接ブレードを展開>オープン<し真耶さんを中心に円お描きながら飛行し両手に持った近接ブレード「真空刃+炎」を振りまくった。

何十という真空刃「炎」がラファール・リヴァイヴを襲う

真耶「キャアー」

シールドエネルギーは一気0になった。

試合が終わりピッドで着替えを済ませると真耶さんが入ってきた。

真耶「うう、また負けてしまいましたハア…ところであれは何ですか？」

龍「何となく出来ました」

真耶「そ…そうなんですか」

龍「ところで、勝ちましたしこれで入学出来ますよね！」

千冬「ああ、本当はISを起動出来た時点で入学は決まっていた」

龍「は…じゃ、何で模擬戦をしたのですか？」

千冬「お前の実力が知りたかったからだそれ以外に理由は無い」

ハア…まあいいかそれよりこれでクロさんと一緒通えるぜ。…っ  
あそつえばクロさんに会ってないよし

龍「クロさんに合わせて下さい」

千冬「何故だ」

龍「会いたいからです」

千冬「そのクロという少女は反対側のピッドにいる」  
僕は全力で反対側のピッドに移動しピッドの中に入る

龍「やあクロさん、おひさ〜」クロさんは僕を見ると近くに來て  
袖をもう離れないって感じに握ってきた……くう〜可愛い過ぎだ  
よクロさん！  
少して千冬さんが入ってきた

千冬「それでは、お前らはIS学園に入学が決まった訳だが家は有  
るのか？」

家？…転生してきたから無いな

龍「無いです」

千冬「そうかなら学生寮を使え山田先生案内お私は書類をまとめる  
…それと入学式は一週間後だ」

言ってさっさと何処かに行ってしまう。

真耶「それでは、学生寮に案内しますね」

龍「ハイ」

真耶「それと後で参考書が渡されますがしっかりと覚えて下さい」

龍「ハイ」

これからISS学園の生徒かクロさんと一緒に頑張るか。

## プロローグ（後書き）

どうでしたか？感想ダメ出し意見とつありましたらよろしくお願  
いいたします。

## キャラ紹介（前書き）

キャラ紹介です

## キャラ紹介

なかた  
中田 龍 りゅう

性別  
男

性格

基本ク口さん第一で面白いこと第二  
何事も気にしない人

見た目

身長一夏より低く、髪が少し長い  
黒目黒髪の日本人

専用IS

ク口

待機状態  
銀の腕輪

ク口

性別  
女の子

見た目

これゾンのユーを身長140cmにしたような感じ

性格

基本何も考えないで龍の側に常にいる甘い物が好き

専用IS説明

名称

クロ

武装

クロさんが適当に出します

見た目

百式に黒のラインを入れて装甲は手、足、胸、頭に少しある程度の

見た目

## キャラ紹介（後書き）

うまく、伝わらないかもしれませんが、  
すいませんm | | ( m

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9823x/>

---

転生者の日常

2011年10月28日10時10分発行